

チャシブゴケ目サルオガセ科

コブクレサルオガセ

Usnea bismolliuscula Zahlbr., 1923

島根県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

島根県固有評価：隔離分布種

環境省：－

【選定理由】

島根県では2カ所からのみの報告で、アカマツやクロマツ林の荒廃による生育環境の悪化により、絶滅が危惧されている。

【概要】

体長約15cmの糸状の地衣類で、スギやアカマツ、クロマツの樹皮に着生し、はじめは直立するが、先端部は垂れ下がる。地衣体主軸には小さな穴があり、ソラリアは点状で、その基部はくびれる。近縁種のトゲサルオガセとは主軸の小さな穴とソラリアをもつことで、区別できる。本種は東北地方以南の標高150～1,000mに分布し、国外では台湾、中国、インド、オーストラリアに分布する。

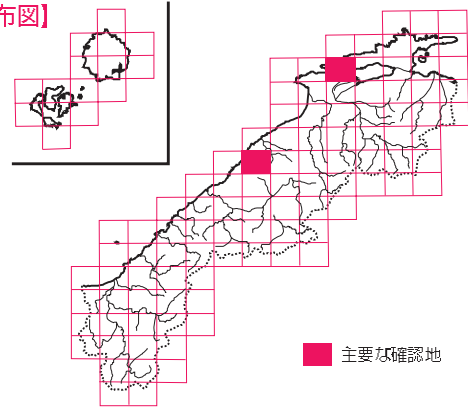
【県内での生育地域・生育環境】

県内では、クロマツやスギの樹皮に着生しているが、稀産である。新たな生育地が確認される可能性はあるが、生育環境の悪化によりその可能性は薄い。

【存続を脅かす原因】

大気汚染および酸性雨などの影響が考えられる。

【分布図】



地衣類

生育地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○			○				○													

絶滅
野生絶滅

絶滅危惧Ⅰ類

絶滅危惧Ⅱ類

準絶滅危惧

情報不足